

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		ことばの教室ことのは3号館			公表日 令和 7年 4月 30日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7	1	部屋を分けて、動や静の環境設定をしています。	見守る職員の人数や訓練する言語聴覚士等の活動に合わせて、事前に活動内容や配慮点の確認を行っています。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	7	1		建物の構造上、目が届きにくい場所もあるので、利用者が多い日には特に事前に職員の配置する場所・危険な箇所を周知・徹底していきます。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	4	玄関施錠やベビーゲートを設置しています。	場所によっては破損部分や補正が必要な箇所もあるので、各所に相談し取り組んでいく予定です。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	8	0	定期的に玩具の消毒、修繕等点検を実施しています。	年齢層に合わせた玩具や教材を購入しています。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8	0	1.2階それぞれ活動に合わせた個室や大部屋を使用できるように環境調整しています。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6	2	朝・昼・夕のミーティングを行っています。	限られた時間内のミーティングであるため、重要な事から共有し、職員全体で理解して業務改善を行っています。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	3		保護者・事業所内からの評価表を通し、優先順位が高いものから業務改善に繋げています。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	0	個人面談を実施しています。	個人面談を通して、改善点を全体で共有しつつ業務効率化を図っています。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	1	7		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	6	2	事業所内でも研修を行っています。	事業所外への研修を希望する場合には、受講できるよう事前に職員配置などの調整を管理者が行っていきます。
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7	1	事業所内での掲示及び、保護者への配布を行っています。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	7	1	会議や児童に直接聞きながら、計画を作成しています。	モニタリングや保護者と面談や聞き取りを行いながら作成、更新しています。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7	1	ミーティングを実施して、職員間で共通理解するようにしています。	ミーティングや職員間であがった議題を全体で各々最善の計画書を作成しています。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6	2	ミーティングを実施して、職員間で共通理解するようにしています。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4	4	言語聴覚士や児童発達管理責任者、管理者が中心となって実施しています。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5	3		

適切な支援の提供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	2	日々子ども達の意見を尊重しながら活動の内容を検討しています。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7	1	日々子ども達の意見を尊重しながら職員間にて活動を検討している。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	8	0		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7	1	終礼にて振り返りを行い情報共有を図っています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	8	0		
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8	0	その日対応した職員が記入・報告等しています。	支援の記録を徹底するため、終礼や記録の方法などを検討していく予定です。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7	1	半年毎に支援会議を行い課題の変化を共有しています。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	3	5		
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	8	0	活動をこども達が自己決定できる様に選択肢を設定する等の配慮をしています。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8	0	担当言語聴覚士または、児童発達支援管理責任者が参加する様にしています	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	3		
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	7	1	学校行事などは保護者を通して共有しています。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	6	2		
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	2	6		現在、対象児がいませんが、必要に応じて連携していきます。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	5	3		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	5	3		
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	6	2	令和6年度から管理者のほうから、南城市こども連合会(仮)に参加しています。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8	0	お迎え時に児童の様子などを共有することで課題の理解を図っています。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	4	必要に応じてや相談があった世帯には個別に対応しています。	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	2	利用契約時や内容変更時など、適宜説明を行っています。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5	3	契約時や定期的なモニタリングの際に意向を伺っています。	

保護者への説明等	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	7	1	契約時や更新時に説明を実施しています。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7	1	ご相談があった際は、なるべく迅速に対応するようにしています。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	4	4	令和6年度は、児童発達支援対象保護者と放課後等デイサービス対象保護者それぞれに保護者会を実施しています。	兄弟同士の交流等は今後検討していきます。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8	0		
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	8	0	法人全体のブログがあるので、定期的に更新しております。	その日の利用者にのみ活動のお知らせを行っているので、なるべく全世帯へ活動の周知が出来るよう取り組んでいます。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8	0		
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8	0		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	5		土曜日の活動を通して令和7年度内に実施できるよう検討しております。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	3	教室内にて保管しており、職員間にて共有している。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7	1	定期的(7月、1月)に避難訓練を実施している。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7	1	契約時に確認し、必要な対応がないか確認しています。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6	2	契約時に保護者への聞き取りを行い書面にて職員間での共有をしています。	食物アレルギー対象児はいないが、今後対象児が居た場合は対応していく予定です。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4	4	安全計画を作成しており、定期的に更新及び点検を実施しています。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4	4		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8	0	ヒヤリハット発生時には記録に残し会社全体にて共有しています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	3	5	虐待防止委員会を通じて定期的に勉強会を開催しています。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	3	5		今後必要に応じて、対応していきます。